8　製品保証

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に当社の責任により故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社支店・営業所・文化シヤッターサービスに修理をご依頼ください。

保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間。ただし、商品からの雨水浸入（建物の構造体を通して雨水が室内側に浸入すること）については10年間とします。

（注1）　改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）　分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は、交通に要する実費を戴く場合もあります。

免責事項

① 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

② 製品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗。木製品のそり、干割れ等)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合

③ 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)

④ 自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)

⑤ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)

⑥ 建築躯体の変形など、商品以外に起因する商品の不具合

⑦ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑧ 当社の手配によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など)

⑨ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部分の取外しを含む)に起因する不具合

⑩ 引き渡し後の操作誤り、整備不良又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

⑪ 使用に伴う接触部分の磨耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化又はこれらに伴うさびなどの不具合

⑫ 施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合

⑬ 犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物又はつるや根などの植物に起因する不具合

⑭ 機能上支障のない音、振動など感覚的現象

⑮ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※ 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※ 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

●お問合せは

文化シヤッター株式会社

本社／〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3

お客様相談室 03 (5844) 7111（代表）

J060

2010.10-01-J

(J060)

窓シャッター
窓シャッターBA

防犯性能の高い建物部品

手動式

取扱説明書

ご使用のお客様へ

このたびは、文化シヤッターの窓シャッターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この説明書をよくお読みになり、正しくご使用になるようにお願いいたします。

また、お読みになった後は、見やすいところへ大切に保管してください。

わからないことや不都合が生じた時には、もう一度ご覧ください。

BX 文化シヤッター

⚠ 安全にお使いいただくために

● 本取扱説明書では、安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性があり、かつ、その危険性と隣り合わせであることを示しています。

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。

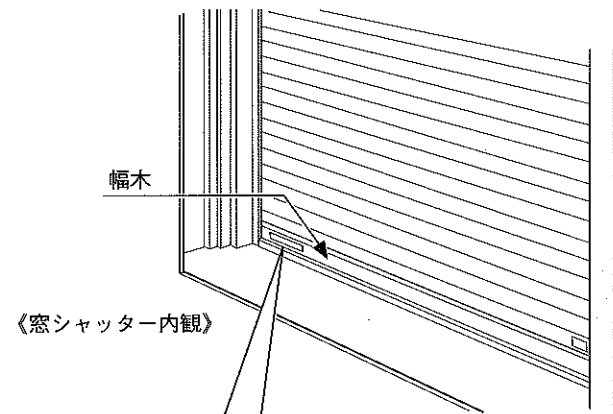
取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うか、または物的損害を被る可能性があることを示しています。

● 上記以外の「お知らせ」には、次のようなシグナル用語を使用しています。

注　記　取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

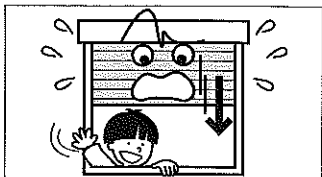
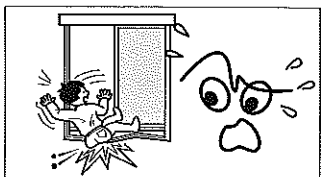
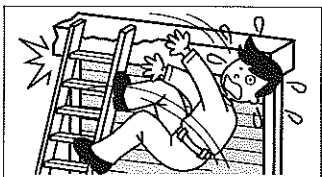
1　ご使用上の注意

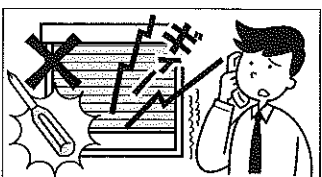
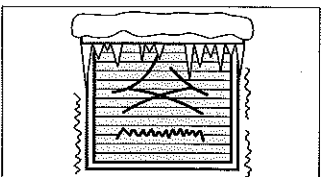
表示ラベルについて

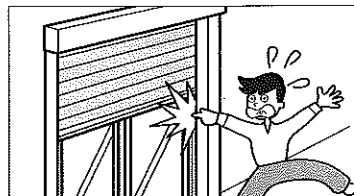
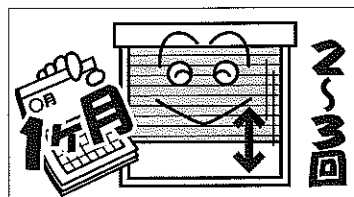
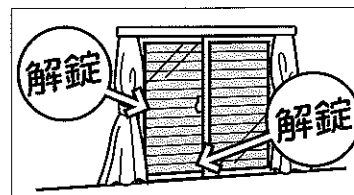
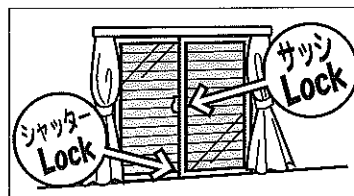
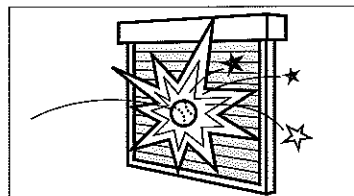
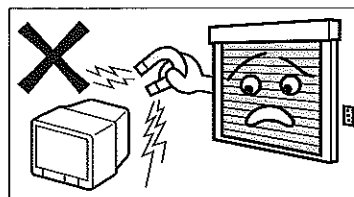
● 本製品には、危険と安全に関する注意情報を記載した、下記の表示ラベルを貼付けています。
表示ラベルの指示には必ず従ってください。表示ラベルをご確認の上、該当する項目をお読みください。

機種名称	機種 No.	幅木の表示ラベル
内錠タイプ	手動 10	手動 10
	手動 11	手動 11
外錠タイプ	手動 20	手動 20
ワイドレバータイプ	手動 40	手動 40

ラベルのここに機種No. が表示してあります。

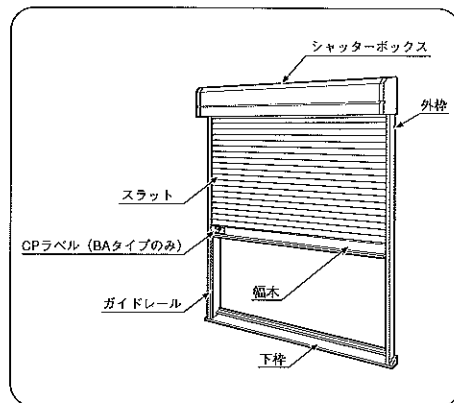
基本的な注意

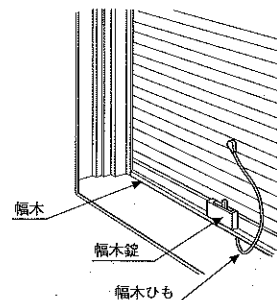
⚠警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。
シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。

シャッターの下枠には乗らないでください。
下枠が変形したり、思わぬけがをするおそれがあります。

シャッターのボックスや下枠は変形しやすいので、はしごをかけたり上に乗ったりしないでください。
落下してけがをする恐れがあります。

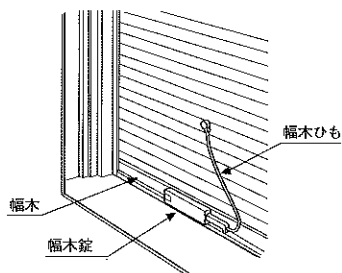
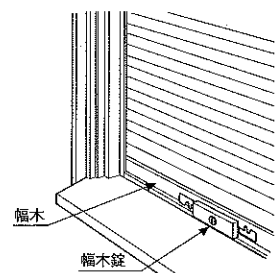
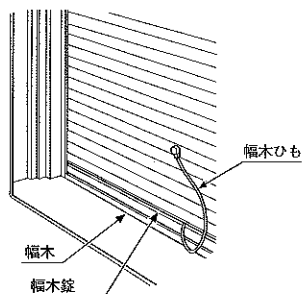
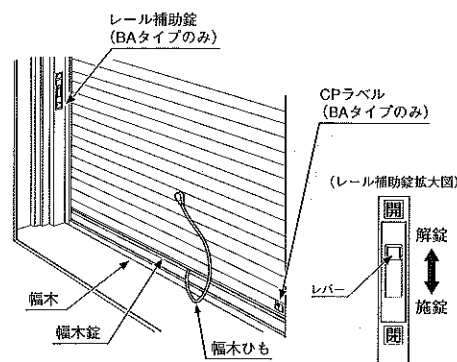
お手入れに高所作業（概ね足元高さ1m以上）が伴う場合は、足場を組むなど墜落予防を施してください。脚立での作業は危険ですのでおやめください。

シャッターの分解や改造は絶対にしないでください。
分解、改造が原因で事故になる恐れがあります。
内部点検、調整、修理は18ページに記載してある文化シャッターサービスにご依頼ください。

スラット表面の凍結･着雪を取り除いてからご使用ください。
氷や雪を取り除かずにシャッターを開けたままにすると、ケース内で溶けた水分により、巻かれたままの状態でスラットが凍結する場合があります。このとき、シャッターを閉めようとすると、ケース内での巻だるみによりシャッターが破損し、思わぬけがをする場合があります。閉操作時に動かない場合は、18ページ記載の文化シャッターサービスへご連絡ください。

⚠注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる場合があります。

シャッターガイドレール溝やシャッター動作部周辺に手や指を近づけたり、入れたりしないでください。けがをする恐れがあります。

常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1カ月に2～3回は開閉してください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなる恐れがあります。

シャッターを開けるときは、全ての錠を解錠してから操作してください。
錠をかけたまま開操作すると故障の原因となります。

シャッターが閉まった状態では鍵のかかっていることを確認してください。また、シャッター錠だけでなく、サッシ錠も確認してください。強風時にはサッシの換気ブレースを閉めた上、シャッターの施錠をしてください。

シャッターには、故意に物をぶつけたりしないでください。
変形して動かなくなる恐れがあります。

シャッターの近くにテレビを設置すると、地磁気の乱れの影響でテレビ画面の色がにじむ場合があります。

2 各部の名称

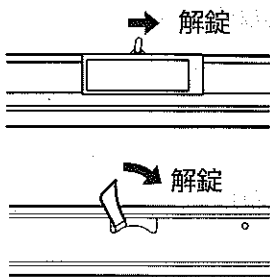
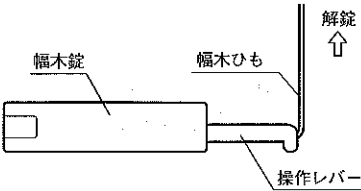
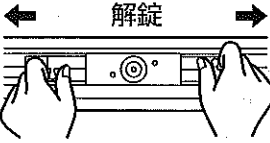
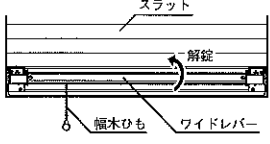
本体外観

本体内観

①内錠タイプ（手動10）

※ 製品によっては幅木ひもが付属されていない場合があります。

②内錠タイプ（手動11）

③外錠タイプ（手動20）

④ワイドレバータイプ（手動40）

⑤BAタイプ（手動40）

● CPラベルは、窓シャッターBA(防犯性能の高い建物部品)に貼られています。
防犯性能の高い建物部品については、6ページをご覧ください。

防犯性能の高い建物部品について

防犯性能の高い建物部品とは

● 「防犯性能の高い建物部品」は、メーカーがそれぞれの独自基準で謳う防犯性能とは異なり、官民合同会議が客観的な視点で評価した防犯性能です。
具体的には認定試験員が被害実態に基づき規定された細則による破壊再現を行い、5分の試験抵抗時間が認められたものでありますが、この「5分間」という基準は、抵抗力の強さを判断するための指標であって、全ての破壊侵入に対して「5分間の抵抗時間」があるという意味ではありません。

防犯性能を維持するために

● 「防犯性能の高い建物部品」の防犯性能を維持するためにはメンテナンスが必要です。
16ページ記載の「点検」をご覧いただき、製品に不具合がないことをご確認ください。特に、製品の鍵部分については、施錠状態を確認してください。
なお、部品交換の際は、「防犯性能の高い建物部品」に使われる部品を使用する必要があります。

侵入盗に対する補償について

● 「防犯性能の高い建物部品」は、客観的に評価された防犯性を有する製品ではありますが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入盗の破壊による製品の破損が防犯性能の限度を超える破壊であれば瑕疵担保責任には該当しません。
通常のご使用での製品保証については、裏表紙をご参照ください。

幅木錠

製品タイプ	機種No.	鍵の形
内錠タイプ	手動10	解錠 解錠
	手動11	解錠 幅木錠 幅木ひも 操作レバー
外錠タイプ	手動20	解錠
ワイドレバータイプ	手動40	スラット 解錠 幅木ひも ワイドレバー

製品仕様

使用条件

周囲温度	－10℃～40℃
周囲湿度	RH85%以下
周囲環境	沿岸部、腐食環境などを除く

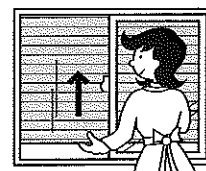
3 ご使用方法

①内錠タイプ（手動10）

注記
- シャッターを閉めたとき、幅木錠が施錠されていることを必ず確認してください。
- 幅木の端の方を持って開閉を繰り返さないでください。引っかかりや、こすれ音の原因となります。
- 幅木ひもを引くとき、勢いよく引いたり、斜めから引いたりしないでください。幅木ひもが切れる場合があります。

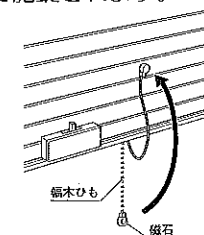
開けるとき

1 レバーを解錠の方向に倒しながら幅木を少し持ち上げると解錠します。
※ その後はレバーから手を放しても操作できます。

2 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで持ち上げてください。

※1 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その場合は、いったん下までゆっくり降ろして再度ゆっくりと上げてください。
※2 シャッターを上げきる前に、幅木ひもツマミ部分（磁石が付いている部分）を必ずスラットから外し、下に垂らしてください。

閉めるとき

1 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで降ろしてください。
幅木に手が届かない場合は、幅木に付いている幅木ひもでシャッターを降ろしてください。

2 幅木が下まできたら、やや強めに降ろしてください。
自動で施錠されます。

※シャッターを閉めきる前に幅木ひもが外部へ露出しないように磁石でスラットに固定してください。
※製品によっては幅木ひもが付属されていない場合があります。

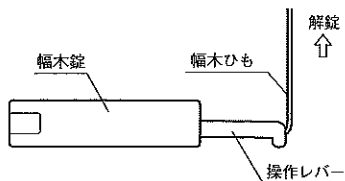
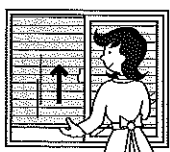
- 雨やお掃除でスラットが濡れているときは、開閉中に水滴が落ちてくることがあります。
- 風雨時には、スラット同士の連結部より、スラットの内側へ雨水がしみ出すことがあります。また、スラットに通気用の穴（パンチング穴）が開いているタイプでは、シャッターを閉めても雨天時にスラットの穴より入る雨水を完全に遮ることは出来ません。床などを濡らす恐れがありますので、雨天時にはサッシを閉めてご使用ください。
- シャッターを閉めても枠部材の隙間から入る光を完全にさえぎることはできません。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテン等をご使用ください。

②内錠タイプ（手動11）

注記
- シャッターを閉めたとき、幅木錠が施錠されていることを必ず確認してください。
- 幅木の端の方を持って開閉を繰り返さないでください。引っかかりや、こすれ音の原因となります。
- 幅木ひもを引くとき、勢いよく引いたり、斜めから引いたりしないでください。幅木ひもが切れる場合があります。

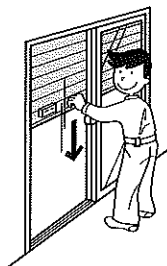
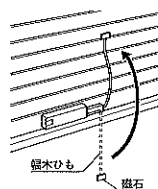
開閉操作方法

開けるとき

1 幅木に付いている幅木錠の操作レバーを上に上げるか幅木ひもを引き上げて幅木を全閉位置より5～10cm程度持ち上げると解錠します。
※ その後は操作レバーや幅木ひもから手を放して操作してください。

2 幅木の中央付近をもってゆっくりと持ち上げてください。

※ 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その場合はいったん下までゆっくり降ろして再度ゆっくりと上げてください。
※ シャッターを閉めるときに備えて、幅木ひもを下に垂らしてください。

閉めるとき

1 幅木の中央付近をもってゆっくりと降ろしてください。

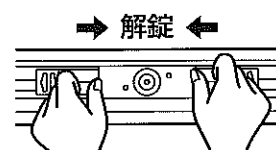
※ 幅木に手が届かない場合は、幅木の幅木ひもにて手が届く高さまで降ろしてください。

2 幅木が下まできたらやや強めに降ろしてください。
自動で施錠されます。

※ シャッターを開ける時に備えて、幅木ひもの磁石部分をスラットにくっつけてください。その際幅木ひもが外部に露出しないようにしてください。
※ 全閉時には、かならず施錠状態になっていることを確認してください。

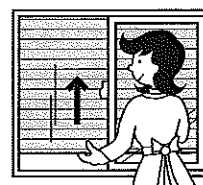
- 雨やお掃除でスラットが濡れているときは、開閉中に水滴が落ちてくることがあります。
- 風雨時には、スラット同士の連結部より、スラットの内側へ雨水がしみ出すことがあります。また、スラットに通気用の穴(パンチング穴)が開いているタイプでは、シャッターを閉めても雨天時にスラットの穴より入る雨水を完全に遮ることは出来ません。床などを濡らす恐れがありますので、雨天時にはサッシを閉めてご使用ください。
- シャッターを閉めても枠部材の隙間から入る光を完全にさえぎることはできません。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテン等をご使用ください。

③外錠タイプ（手動20）

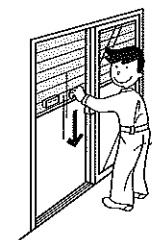
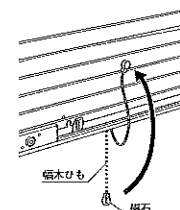
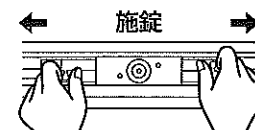
注記
- シャッターを閉めたとき、幅木錠を必ず施錠してください。
- 幅木の端の方を持って開閉を繰り返さないでください。引っかかりや、こすれ音の原因となります。
- 幅木ひもをひくとき、勢いよく引いたり、斜めから引いたりしないでください。幅木ひもが切れる場合があります。

開けるとき

1 左右のレバーを解錠方向に動かして幅木を少し持ち上げると解錠します。

※その後はレバーから手を放して操作できます。

2 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで持ち上げてください。

※1 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その場合は、いったん下までゆっくり降ろして再度ゆっくりと上げてください。
※2 シャッターを上げきる前に、幅木ひもツマミ部分（磁石が付いている部分）を必ずスラットから外し、下に垂らしてください。

閉めるとき

1 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで降ろしてください。
幅木に手が届かない場合は、幅木に付いている幅木ひもでシャッターを降ろしてください。

2 幅木が下まできたら、シャッターを閉めきる前に幅木ひもが外部へ露出しないように磁石でスラットに固定してください。
※ 製品によっては幅木ひもが付属されていない場合があります。

3 左右のレバーを施錠方向に動かして錠をかけます。

- 雨やお掃除でスラットが濡れているときは、開閉中に水滴が落ちてくることがあります。
- 風雨時には、スラット同士の連結部より、スラットの内側へ雨水がしみ出すことがあります。また、スラットに通気用の穴(パンチング穴)が開いているタイプでは、シャッターを閉めても雨天時にスラットの穴より入る雨水を完全に遮ることは出来ません。床などを濡らす恐れがありますので、雨天時にはサッシを閉めてご使用ください。
- シャッターを閉めても枠部材の隙間から入る光を完全にさえぎることはできません。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテン等をご使用ください。

④ワイドレバータイプ／BAタイプ（手動40）

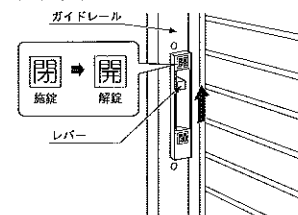
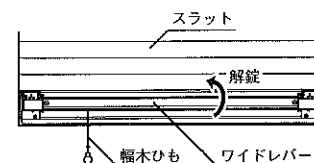
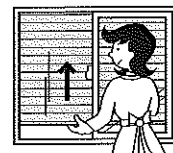
注記
- シャッターを閉めたとき、幅木錠が施錠されていることを必ず確認してください。
- 幅木の端の方を持って開閉を繰り返さないでください。引っかかりや、こすれ音の原因となります。
- 幅木ひもをひくとき、勢いよく引いたり、斜めから引いたりしないでください。幅木ひもが切れる場合があります。

（BAタイプのみ）

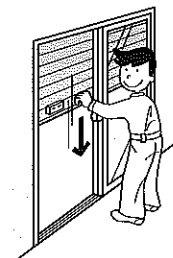
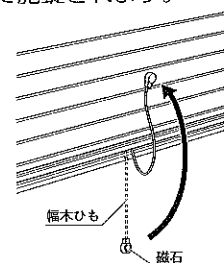
注記
- シャッター全閉時以外は、レール補助錠を操作しないでください。故障の原因となります。
- レール補助錠レバーの操作は、解錠の際は、「カチッ」と音がするまで上げきり、施錠の際は、「カチッ」と音がするまで、下げきってください。解錠・施錠がしきれていないまま使用すると故障の原因となります。
- レール補助錠は施錠状態でもガイドレール内のストッパーで停止するまでは、シャッターが動きます。（最大160mm程度）

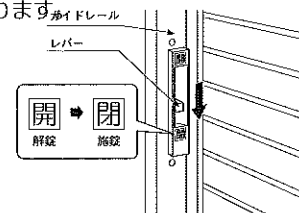
- 雨やお掃除でスラットが濡れているときは、開閉中に水滴が落ちてくることがあります。
- 風雨時には、スラット同士の連結部より、スラットの内側へ雨水がしみ出すことがあります。また、スラットに通気用の穴(パンチング穴)が開いているタイプでは、シャッターを閉めても雨天時にスラットの穴より入る雨水を完全に遮ることは出来ません。床などを濡らす恐れがありますので、雨天時にはサッシを閉めてご使用ください。
- シャッターを閉めても枠部材の隙間から入る光を完全にさえぎることはできません。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテン等をご使用ください。

開けるとき

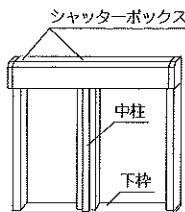
1 （BAタイプのみ）レール補助錠のレバーをゆっくりと 開 側に持ち上げてください。
開 側になっていれば、解錠しています。
※ ガイドレールの左右のいずれかにあります。

2 レバーを解錠の方向に倒しながら幅木を少し持ち上げると解錠します。
または、幅木ひもで幅木を開方向に引き上げれば、自動的に解錠し、シャッターが開きます。
※ その後はレバーから手を放しても操作できます。

3 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで持ち上げてください。

※1 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その場合は、いったん下までゆっくり降ろして再度ゆっくりと上げてください。
※2 シャッターを上げきる前に、幅木ひもツマミ部分（磁石が付いている部分）を必ずスラットから外し、下に垂らしてください。

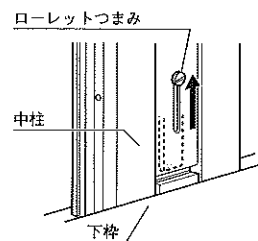
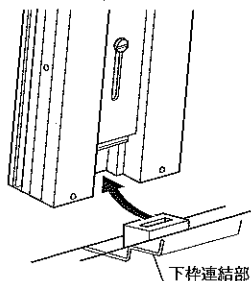
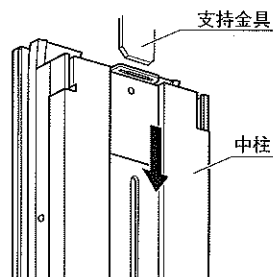
閉めるとき

1 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで降ろしてください。
幅木に手が届かない場合は、幅木に付いている幅木ひもでシャッターを降ろしてください。

2 幅木が下まできたら、やや強めに降ろしてください。
自動で施錠されます。

※ シャッターを閉めきる前に幅木ひもが外部に露出しないように磁石でスラットに固定してください。

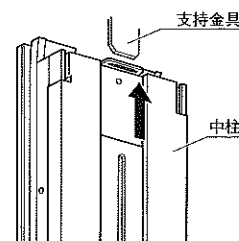
3 （BAタイプのみ）レール補助錠のレバーをゆっくりと 閉 側に押し下げてください。
閉 側になっていれば、施錠しています。
※ ガイドレールの左右のいずれかにあります。

⑤中柱のお取扱いについて

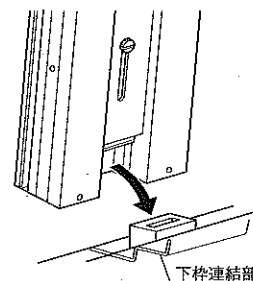
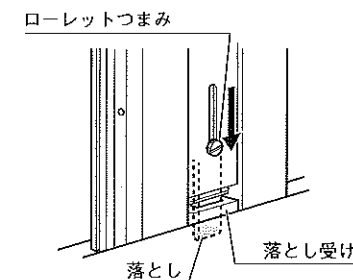
⚠警告 ● 中柱を取外すとき、取付けるときは、まわりに人がいないこと、物がないことを確認して周囲にぶつけないよう作業してください。
また、2階に設置されたシャッターの中柱を取外すとき、取付けるときは、中柱を落下させないよう、ご注意ください。

- **間口が12尺の場合、シャッター中央に中柱が付いています。中柱は取外しができます。**
- **中柱の取外し、取付けをするときは、シャッターを全開にした状態で行ってください。**

取外すとき

1 中柱下部のローレットつまみをゆるめ、落としを上に持ち上げます。持ち上げたらつまみを固定します。

2 室外側にスライドさせます。

3 支持金具から中柱を引きぬきます。

取付けるとき

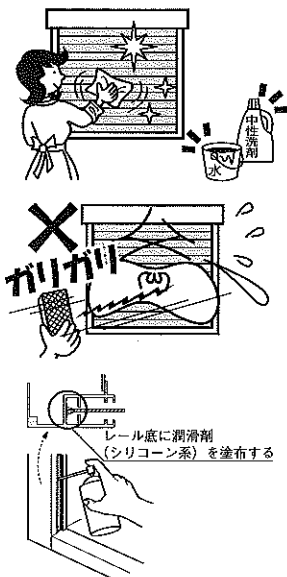
注記 ● 中柱を取付ける際は必ず以下のことをご確認ください。
① 中柱上部がシャッターボックス下部の支持金具に確実に差し込まれていること。
② 中柱下部の落としが下枠連結部の落とし受けに確実に掛かっていること。

1 幅木をレール内に入れながら、中柱上部を支持金具に差し込みます。

※1 ボックスから垂れ下がっている配線をはさみ込まないよう十分注意してください。
※2 幅木がレール内に入れにくい場合は、幅木を若干下ろしてから中柱取付けを行ってください。

2 中柱下部を室内側にスライドさせます。

3 落としを確実に落とし受けに入れ込み、ローレットつまみをしめてください。

4　お手入れ方法

お手入れの仕方

注記
1. お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
2. 製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズがつくと、錆の原因となります。
3. 直接ホース等で水をかけての清掃は、故障の原因となりますのでお止めください。
4. 酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

- 雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
- スラットおよびガイドレールが汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
- 水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- スラットに通気用の穴（パンチング穴）が開いているタイプで、通気穴に詰まった土埃等が、拭き取りで落ちない場合は、清掃用のブラシなどで擦って落としたのち、濡れた布などで汚れを落とし、固く絞った布などで水分をふきとってください。
- なお、強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。
- 定期的にレール内へ潤滑剤（シリコーン系）を塗布してください。
- また、ガイドレール下端の鍵受けにも潤滑剤を塗布してください。

お手入れの間隔

お手入れ回数の目安　（1年あたりの回数）

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1〜4	1〜3	1〜2	1
アルミ(クリア塗装)	1〜4	1〜3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況をみて、適宜清掃回数を増やしてください。

5　点検

日常点検

⚠注意　日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止め、18ページに記載してある文化シャッターサービスにご連絡ください。

1. シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。
   - 今までと違った異常音がしないこと。
   - 今までと違った振動がしないこと。
   - 外観に使用上有害な変形がないこと。
   - 全開全閉で停止すること。
   - 施錠、解錠時にひっかかりなどの異常がないこと。
2. 表示ラベルの脱落、破れ、はがれなどの破損がないかご確認ください。読めなかったり、正しく貼られていなかったり、破損していたら、新しいラベルと交換してください。
3. シャッターの下に障害物がある場合は、障害物を取り除いてから操作してください。

定期点検

⚠注意　専門メーカに定期点検作業をご依頼ください。
専門メーカ以外の点検は、人身事故や重大事故につながる恐れがあります。

■点検実施回数の目安

シャッターの大きさ、経過年数、使用条件および用途により点検回数は異なりますので、18ページに記載してある文化シャッターサービスにお問い合わせください。

一日当たり開閉頻度	定期点検回数（年）
1〜2回	2
3回以上	打合せによる

■点検実施回数の目安

文化シャッターサービスと「定期点検契約」を結んで頂くと、定期点検を実施します。詳しくは、18ページに記載してある文化シャッターサービスにお問い合わせください。

6 故障かなと思ったら

症 状	チェック項目	処 理
シャッターが動かない。	幅木錠が施錠になっていませんか？	幅木錠を解錠してください。
シャッター開閉時の異常音。 シャッターがスムーズに動かない。	<外錠タイプ(手動20)> 幅木錠は完全に解錠されていますか？	幅木錠を解錠してください。
シャッター開閉中にこすれ音がする。 開閉が重くなった。	―	ガイドレール内に潤滑剤を塗布してください。 (15ページ参照)
シャッターを閉めるときに重い、または、施錠しにくい。	―	ガイドレール下端の鍵受けに潤滑剤を塗布してください。 (15ページ参照)

7 修理のご案内

修理のご用命はATSSへ――

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シヤッターサービスのATSS＝アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

アットタイムサービスシステム

修理に関するお問い合せは

フリーダイヤル 0120-365-113

365日いいサービス